

未成年の投資口座開設促進のための保護者向けキャンペーンの提案

平川ゼミナール：竹林悠太、田村慎之佑、范時雨、横山佳吾

要約

2022年4月から18歳から投資が可能となった。18歳になってすぐ投資を行うには、高校時代に口座開設などの準備をしなければならない。しかしながら、口座開設には親の承諾が必要であり手間と時間がかかる。そこで、高校生を持つ親をターゲットに子供の口座開設を促すキャンペーンを考え、福岡銀行に提案を行った。

1. はじめに

私たち平川ゼミナール生は2年次から投資について学んでいる。2022年のオープンキャンパスでは、その成果を基に高校生と保護者を対象に投資セミナーを行った。その際、講義参加者にアンケートを実施した。アンケート結果では、セミナーに参加したことで株式投資について理解できた・やや理解できたと回答した人が91.7%、講義に満足した人が94.5%、実際に投資をしたいと思った人が80.5%であった。

また、2022年11月5日に平川先生が高校1年生を対象に行った投資についての模擬授業でのアンケートでは、127名中80名が実際に投資を始めたいと思ったと回答し、いつから投資を始めたいかを訊いたところ「今すぐ(9%)」「18歳から(23%)」「大学生から(31%)」を合わせると過半数を超えた。さらに、投資を行っている平川ゼミナール生10人に「いつから投資を始めるべきか」アンケートをとったところ、大学生からが5名、高校生からが4名という結果となった。理由としては、「学生から長い投資期間を確保すればインカムゲインによる収益を多く得やすい」「投資を通じて金融リテラシーを高めることができる、経済の勉強になる」「企業分析の力が身につく」「銘柄選択をすることは就職先を考えることにもつながる」などが挙げられた。

さらに、2022年4月から成人年齢が引き下げられ、18歳からNISA等で株式投資が可能になった。同時に高校の新しい学習指導要領が実施され、「金融教育」で「資産形成」が必修となった。つまり、高校時代が投資の準備期間となったのである。

2. 高校生のうちに証券口座を開くべき理由

実際に投資をするには証券口座を開く必要がある。しかし、私たちがゼミナールを通じて投資を始める際に行った口座開設では、1人行うには不便なことがいくつかあった。口座開設をする主な手順は次の通りである。

- 申込書を請求またはインターネットで申し込み
 - メールアドレス・氏名・住所を入力

- 本人確認書類の提出
 - マイナンバーカード or 通知カードが必要
 - 本人確認書類が必要
- 個人情報入力
- 審査に通れば口座開設完了（順不同）

ここで実家にいるうちにしておいた方が良い作業は「本人確認書類の準備」と「個人情報入力」の二つである。本人確認書類に必要な「マイナンバーカードの発行」や個人情報入力に必要な「親の勤務先の情報」など、実家で住んでいればやりやすいが、実家を離れて生活していると手間がかかる。また、申請して口座が正式に開設されるまでに1ヵ月ほどかかった。

以上のことから、私たちは18歳になってすぐに投資を行うためには、実家にいる高校生のうちに投資口座を開設するべきであると判断した。しかしながら、投資口座には親の承諾が必要不可欠である。そこで、高校生を持つ親をターゲットに子どもの口座開設を促すキャンペーンを行えたらいいのではないかと考えた。

3. 保護者向けキャンペーンの福岡銀行への提案

親に反対されると口座開設は困難であるため、まずは親の心を動かすことのできるキャンペーンを提案したいと考えた。そこでまず、私たちは以下のキャッチコピーを2022年11月18日に福岡銀行へ提案した。

巣立つあなたに未来をプレゼント
～口座開設は親から贈る卒業証書～

キャンペーン内容としては、高校生までに口座開設してくれた方限定で「自動送金サービス」の契約手数料と一定期間振込手数料の二つを免除することを提案したいと考えている。

4. おわりに

キャンペーンのキャッチコピーは福岡銀行の方から「とても良い」と高評価をいただき、今後、福岡銀行とゼミナールと共同でイベントなどを行っていくことが確認された。また、キャンペーンの中身を考えて提案する約束もしているため、発表した内容をさらに精査し、よいアイデアを提案できたらと思っている。この私たちの活動が、高校生が将来、豊かな生活を送れる手助けになればと考えている。

5. 参考文献

SBI証券 「口座開設の流れ 簡単4ステップでお取引！」

https://go.sbisecc.co.jp/account/sogoflow_01.html?id=id01（閲覧日 2022-11-16）